

山口県PTA連合会からのメッセージ

山口県PTA連合会 会長 富川芳人

1. 小中学生に必要なない携帯電話を持たせない

子どもたちの中には、親が持たせている携帯電話によって、出会い系サイトで被害に遭ったり、メールや独自の開設サイトによる誹謗中傷などで相手を傷つけ、その被害者や加害者になったりしている子どもたちがたくさんいます。このように大きな社会問題になりながら、小中学生に携帯電話を持たせて良いのでしょうか？中には本当に必要な携帯電話もあるでしょう。しかし、みんなが持っているからとか、親の無責任な安心のために持たせている必要なない携帯電話がたくさんあると思います。携帯電話で安全や安心を求めるなら、通話とGPS機能だけで充分なはずです。携帯電話は遊び道具ではありません。

今一度ご理解をいただき、必要なない携帯電話は持たせないようにしましょう。山口県PTA連合会は、本年度中にこのアピールを県内に発信したいと考えています。

2. 情報の共有化で、学力・学習意欲の向上を

昨年4月に全国学力・学習状況調査が行われたことは、ご存知のことと思います。この調査結果の公表については、全国各地で賛否両論ありますが、実施要領では各市町教育委員会や各学校の判断に任されています。そしてこの結果を受けて、山口県教育委員会では、課題の分析や教職員のスキルアップなど、いろいろな角度から子どもたちの学力や、学習意欲の向上に向けての対策が講じられています。

この調査では、学力の調査だけでなく家庭での生活習慣などの調査も行われました。私たち多くの保護者は、具体的な課題が見えていないため、何の危機感も問題意識も持っていないのが現状ではないでしょうか。現実をしっかりと見つめ、個々の課題を的確に捉えて対処していくためにも、今回の調査結果の公表は必要なことかもしれません。家庭学習の大切さや、“早寝、早起き、朝ごはん”など基本的な生活習慣を見直すとともに、それぞれの地域や学校でしっかりと話し合い、必要な情報や問題はきちんと共有すべきだと思います。そのうえで連携を密にして、子どもたちの学力や学習意欲の向上につなげて行きましょう。

3. 地球環境問題への取り組み

近年、地球温暖化現象や頻発する大地震、多くの災害など、次世代の子どもたちに残していかなければならない地球環境は悪化するばかりです。すでに地球環境問題を考えたPTA活動をされているところもあるかと思いますが、今こそ私たち子どもを持つ保護者として何が出来るか考え、行動する時期にきています。

清掃活動など地域で出来ることや、二酸化炭素や廃棄物の排出量の削減、排水量の削減など、家庭で出来る小さなことからでも結構です。もしも県内すべてのPTAがこの取り組みをしていただけたなら、明るい未来が拓けてくることでしょう。私たちの子どもたちしか未来を見ることは出来ません。

是非とも来年度、地球環境問題をテーマにPTA活動に取り組んでいただきますよう、ご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。